

## 2019年度 第318回教育研究審議会議事要録

**日時** 2019年7月9日(火) 13:30~14:05  
**場所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、伊藤外国語学部長、隈本経済学部長、田島文学部長、内田地域創生学群長、上江洲国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、工藤マネジメント研究科長、今泉学生部長、高橋教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、中武環境技術研究所長

**配布資料**

- 1 退職願(基盤教育センター)
- 2 国連アカデミック・インパクトへの登録申請について
- 3 授業評価アンケートWeb化の試行実施について

### 第1号 教員の人事について

\* 資料1のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、森本司教授の2020年3月31日付での退職について提案。

- 森本教授は、国際環境工学部の看板科目である環境問題特別講義及び環境問題事例研究を担当され、ご尽力いただいている。後任として採用する方についても当該科目に積極的に関わっていただきたい。
- 後任人事については、当該科目の担当も含め、基盤教育センターと国際環境工学部で既に協議している。早ければ次回の教育研究審議会で後任の欠員補充申請を諮る予定で進めている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第2号 国連アカデミック・インパクト登録申請について

\* 資料2のとおり、国連アカデミック・インパクト登録申請について提案。

- 国連アカデミック・インパクトは国連と世界の高等教育機関を繋ぐプラットフォームの役割を担っており、人権、教育、持続可能性及び紛争解決などの普遍的な10原則のうち、毎年少なくとも1つの原則を積極的に支持する活動を国連が求めるものである。本学も国連アカデミック・インパクトに登録申請し、世界共通の課題解決に向け積極的に取り組むことで、国際目標であるSDGsに対する学内での理解を深め、SDGs達成に向けた機運を醸成していくとともに、本学の取組を地域から世界に向けて情報発信を行う。
- 取組内容の検証や報告の必要があるのか。
- 10原則の中で大学が選択した原則に関する取組内容を毎年報告する必要がある。
- 国連アカデミック・インパクトに登録することによるメリットは何か。
- 取組内容に対する国連からの表彰等はない。SDGsに関連する革新的な取組の模範であるハブ校に指定されれば、対外的なアピールに繋がるのではないか。
- 国連アカデミック・インパクトに登録し、大学の取組を国連のHP等で情報発信できることが主たるメリットとなる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 報告

- ① 授業評価アンケート Web 化の試行実施について
- ② 次回の審議会を2019年7月23日(火)に開催する予定の旨、連絡があった。